

ワクチンの重要性

ワクチンについて

多くの命を救うことができるワクチンは、子供たちに健康な人生のスタートを確保しようとするものです。ですから、健康に対する最善の投資と言えるでしょう。また、子供1人あたり僅か数ドルで、障害や疾病を一生にわたって予防することができるので、予防接種によって保健医療負担を何百万ドルも節約できることになります。

その予防効果は即時に現れますが、健康・教育・社会・経済などに対する影響は長期に続きます。子供たちが健康であれば、家族はより生産的な経済活動に集中することができ、より豊かな自立性のあるコミュニティにつながるという波及効果もあります。また、このようなコミュニティであれば、経済全体が発展します。

現在、予防可能な疾病7種に対して子供たちを守るワクチンがあり、医学が進歩すれば、さらに深刻な疾病に対するワクチンも発見されるでしょう。また、ワクチンを必要としている子供たち、特に発展途上国の子供たちにそれが届くよう、ワクチンの配給状況を改善する必要があります。ワクチンがさらに広く利用されるようになれば、次の10年間で800万人もの子供たちの命を救うことができるようになります。

ワクチン：健康に関するグローバルな優先課題

ワクチンは、小児の死亡率を下げる最も重要な役目を果たしており、予防接種により何百万人もの子供たちが病気に罹ることなく健康に暮らしています。それでも、毎年5才未満の小児200万人以上が、必要な予防接種を受けることができずに予防可能な病気が原因で死亡しています。さらに、何百万人の小児が重度の回復不能の障害を持っています。

ワクチンは、私たちビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団(Bill & Melinda Gates Foundation)が設立当初から多くの投資を行っている対象のひとつです。豊かな国々の子供たちがワクチンを接種できるのに対し、発展途上国の子供たちが予防可能な病気で命を落としているという現実が、ビル・ゲイツ、メリンダ・ゲイツ夫妻がグローバルな健康問題に対して寄付活動を始めるきっかけとなりました。ワクチンの持つ大きな意義と、命を救うことができるという可能性のため、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、ワクチンの研究や開発を戦略的優先課題とし、ワクチン配給チームは、予防接種をうける子供たちの数を大幅に増やそうと努力しています。



訪問予防接種チームから経口ポリオワクチンを受ける子供(2010年アフリカ ナイジェリアのカノで)

成功例

ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、この10年間に実現された成功事例と順調に達成される目標にたいへん驚いており、さらに大きな成果を上げることができると確信しています。何百万人もの子供たちの命(少なくとも過去20年間で2,000万人)を救うことができ、新しいワクチンも開発されています。成功例としては、次のようなものがあります。

- **ポリオ** 世界中でポリオは99%撲滅され、史上2番目に完全に撲滅される疾病となるでしょう。
- **下痢** 安全かつ効果の高いロタウイルスワクチンにより、重度の下痢による死亡から子供たちを救うことができます。このワクチンがニカラグアで初めて使用されてから僅か4年間で、罹患率は60%も減少しました。
- **肺炎** 2011年に登場した新しい肺炎球菌ワクチンは、広く接種されるならば、年間40万人の子供の命を救うことが可能になります。
- **髄膜炎** サハラ以南のアフリカで最近利用できるようになった新しいA形髄膜炎ワクチンは、わずか1米ドルで製造・配給できます。



地域農村にある診療所で若い赤ちゃんに予防接種を受けさせている母親 (2009年ニカラグアのコロナルで)

協力団体

- PATHのMalaria Vaccine Initiativeは、マラリアに対する次世代ワクチンを開発しています。
- Aeras Global TB Vaccine Foundationは、学術機関や製薬企業と協力して、複数の結核ワクチンを治験を通じて開発中です。
- Collaboration for AIDS Vaccine Discovery (CAVD)は、HIV/AIDSに対する予防ワクチン開発に携わる科学者および専門家500名以上の国際的ネットワークです。
- GAVI Allianceは、2000年以来、2億5,000万人以上の子供への予防接種のための資金を集め、540万人もの命を救いました。
- Children's Hospital Bostonでは、特に小児の感染症への罹患率が高い低所得諸国において、小児の健康および救命率を高めるためのより効果的なワクチンを開発しています。

- **はしか** この10年間でアフリカにおけるはしかの死亡率は90%以上も下がりました。
- **コレラ** 現在インドで製造されているコレラの新しい経口ワクチンは間もなく広く利用できるようになり、1人あたり僅か1米ドルで5才未満の小児の命を守ることができるようになります。
- **日本脳炎** 中国製の新しい日本脳炎ワクチンは現在アジアで入手可能で、1回接種すれば一生有効です。

未来を見据え、誰もが健康で生産的な生活を送る機会を得られるよう、本財団では、ワクチンの発見・開発・配給を大きく発展させる決意です。

強固なパートナーシップ

私たちビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団の決意は固く、また経済的援助は十分あるとは言えないものの、何百万人もの子供たちの健康な人生を守るためには、世界中の協力団体の大きな支援なしには達成できません。これまで、政府関連や公的機関、私的機関において、世界中の多くの人々が様々なワクチンの開発・配給に際し尽きる事のない努力をしてきました。

私たちは、この10年間に実現された成功事例と順調の達成される目標にたいへん驚いており、協力活動の枠組みを通して、さらに大きな成果を上げることができると確信しています。2010年世界経済フォーラムにおいて、ビル・ゲイツとメリンダ・ゲイツは次の10年を「ワクチンの10年間」とし、新しいワクチンの発見・開発、そして既存のワクチンと併せての配給における大きな努力を求めています。本財団はその実現を目指し、グローバルコミュニティと協力しています。

世界中からますます多くの支援と参加が増えることにより、ワクチンを必要とする何百万人もの子供たちに対し、的確にワクチンを提供することができるのです。各団体との協力により、私たちは、全ての子供たちが健康な生活を送るための予防接種を受けられることを実現できるのです。

詳しい情報

グローバルヘルスプログラム:

www.gatesfoundation.org/global-health

ワクチンに関する本基金の活動:

www.gatesfoundation.org/vaccines

命はどれも変わらぬ価値を持つという信念のもと、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団では、全ての人々が健康で生産的な生活を送る助けとなる活動を行っています。発展途上国においては、人々の健康向上と、飢えと極度の貧困から脱する機会を提供することに注力しています。米国においては、全ての人々、特に低所得者層の人々が、教育や人生において成功するために必要な機会を手に入れられるよう活動しています。ワシントン州シアトルを拠点とする本財団は、ビルおよびメリンダ・ゲイツ、ウォーレン・バフェットの指揮の下、CEOのジェフ・ライクスおよびウィリアム・H・ゲイツ・シニアに率いられています。

ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団に関する詳しい情報については、ウェブサイトwww.gatesfoundation.orgをご覧ください。

© 2011 Bill & Melinda Gates Foundation. All Rights Reserved. ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団(Bill & Melinda Gates Foundation)は、米国およびその他の国における登録商標です。